

製品・販売班 企画書

1. 目的

製品・販売班は「上質なラオスコffee商品を製造し、販売する」ということを第一の目的とし活動する。同時にマーケティングの機会を利用し、消費者や関係者へ商品を通してラオスという国やそこで生活している人たちが今どういった状況にあるのかということを知ってもらうことを第二の目的とする。また販売で得た収益は、smile F Laos 全体での目標である「ラオスの学校に浄水器を設置する」ために使用される。

2. 目標

製品を販売した収益で、浄水器の購入に必要な資金 25,000 円(1台 2,500 円×10台)を集める。さらに商品を通してラオスやフェアトレードに関する情報を広め、消費者の関心を持ってもらえるように工夫する。

3. 場所

東洋大学白山キャンパス内や白山周辺の個人経営の飲食店に協力をお願いし、販売する。また、東洋大学の学園祭や学外のフェアトレードに関するイベントでの販売も視野に入れている。

4. 対象

東洋大学のキャンパス内または学園祭で販売する場合は東洋大学の学生や先生、利用者を中心に販売の対象とする。近所の飲食店で販売する場合には、学生はもちろん白山周辺の住民や会社員もターゲットである。イベントに出店する際には国際フェアトレードに興味のある人、コーヒー愛好者へのアプローチも力を入れる。

5. 内容

ラオスのコーヒー豆を使った商品の販売

焙煎豆 200g	800 円
挽き豆 200g	800 円

Smile F Laos が参加するイベントでの限定商品

コーヒーゼリー	価格未定
カフェラテ/ソイラテ	価格未定
アイスコーヒー	価格未定
ドリップパック/小分けパック	価格未定

6. スケジュール

5月末	製造したい商品の具体的な構想をまとめる
6月1日	静岡県にあるコーヒーの流通サービス会社を訪問 実際のコーヒー製造過程を見学し 製造したい商品と実現可能な範囲との練り合わせを行う。 (製品・販売班は流通サービスに二度訪問予定)
7月中旬	製品完成
8月～10月	販売営業、イベントへの出品
11月1日・2日	大学祭(白山祭)での出品
11月下旬	会計報告作成
11月末	販売終了
	(12月21～29日 ラオスタディーツアー)
1月中旬	最終報告書提出



イベント班 企画書

1. イベント班の目的

- 1-1. 定期的にイベントを開くことで、フェアトレードに関心がある人や、授業に関心を持ってきている人以外の一般の人々など、できるだけ多くの人にこのプロジェクトを知ってもらえるようにする。
- 1-2. イベントの場で販売することで普通に販売するよりも多くの人に商品を買ってもらい、その売り上げを次のイベントの準備資金や最終目標の浄水器を購入する資金に回せるようにする。

2. イベントの候補について

2-1. 製品お披露目パーティー

【日時】7月後半（製品完成後） 営業に差し支えない時間帯

【場所】白山キャンパス内ステラ（貸切）

【目的】このプロジェクトの目的や内容を説明し、楽しみながらいち早く多くの人に製品が完成したことを知ってもらい、製品の試飲や販売も行う。また、フェアトレードやラオスについても知ってもらえるきっかけにもしたい。

【対象】資金を援助出資していただいた先生方、このプロジェクトに興味を持ってくださっている先生方や一般の学生方々を招待

【200g 豆売上目標数(800 円)/売上】 15/12000 円

2-1-2. お披露目パーティー（ステラ使えなかった場合）

【日時】7月後半（製品完成後） 放課後（先生方の都合のつく方が多い時間）

【場所】白山キャンパス内の教室

【目的】資金を援助していただいた先生方、このプロジェクトに興味を持ってくださっている方々を招待し、製品が完成したということについて報告するとともに、実際に試飲や、販売も行なう。また、興味を持ってくれた一般の学生も参加できるようにはする。まずはこのプロジェクトの概要や製品完成についていち早く伝えたい。

【対象】同上。

【200g 豆売上目標数(800 円)/売上】 10/8000 円

2-2. 館林での共同販売

【日時】8月3週目

【場所】館林のショッピングセンター内

【目的】商品を販売することで、このプロジェクト、フェアトレード、ラオスについて多くの人に知ってもらおう。このイベントでは準備にお金をかけず、売り上げを出すことを目

標とする。

【対象】 イベント会場に来ている様々な人々

【概要】 東洋大学ボランティアセンター、学生団体ハートバザールとともに、館林市のアピタ館林店の催事場で行われるフェアトレードフェアに参加する。同催事は昨年、NHK群馬支局の取材も受け、多くの人々でにぎわったようである。

【200g 豆売上目標数(800 円)/売上】 30/24000 円

2-3. 「消費者と生産者が直接関わる」イベントへの出店

【日時】 9月6日（土）、7日（日）

【場所】 恵比寿 【目的】 同上。 【対象】 同上。

【概要】 広場に 10 店舗ほど集まり、そこで各々が作った主に食品などを売るといったイベント。イベント企画者が数名おり、イベント設営は企画者によって集められたバイト数名で行なっている。食品以外の物を売っている店舗もある。

【200g 豆売上目標数(800 円)/売上】 30/24000 円

2-4. 学祭

【日時】 11月1日（土）、2日（日）

【場所】 白山キャンパス内

【目的】 製品販売も行なうが、一番はこのプロジェクトやフェアトレード、ラオスについて多くの人に知ってもらうこと。

【対象】 同上。

【概要】 東洋大学で毎年開催される学園祭に出店する。できれば、飲食可能なスペースを借りて、試飲ができるようにしたい。

【200g 豆売上目標数(800 円)/売上】 15/12000 円

2-5. キッチンカーを借りてのミニカフェ

【日時】 11月中旬～後半の2日間

【場所】 未定

【目的】 このプロジェクトの締めとして実際にキッチンカーを借りて1日カフェを開き、多くの人に気軽に立ち寄ってもらい、私たちのやりたいこと、フェアトレードや、ラオスのことについて少しでも興味を持って帰ってもらいたい。

【対象】 通常その場を利用している人々

【概要】 キッチンカーとは、飲食を移動販売できる車であり、レンタルの会社は様々だが、インターネットで調べたところによると 2 日で3万などの価格のものがある。コーヒーを買ってくれそうな人が多くいる場所、時間帯などに合わせて移動しながら販売する。

【200g 豆売上目標数(800 円)/売上】 15/12000 円

広報班 企画書

1. 目的

フェアトレードを知らない人たちに向けて、フェアトレードに関する情報を伝えるだけでなく、ラオスの教育や衛生環境についての現状を伝えたり、当団体の活動情報を伝えたりすることで、フェアトレードやラオスの教育、衛生問題、さらには当団体に興味を持ってもらうことが目的である。

2. 目標

ホームページ、twitter、Facebook、フライヤーなど、広報班から発信したのを見て、実際にイベントに来てもらい、多くの東洋大生に、「フェアトレード」「ラオスの教育・衛生問題」「当団体の活動」の3点を知ってもらう。

“フェアトレード”を前面に出した類似の団体は他にもたくさんあるため、他の団体に埋もれてしまわないように、当団体の活動をいろいろな人に知ってもらうには、フェアトレードを前面に押し出すのではなく、コーヒー自体に興味を持ってもらう広報を目指す。

→ つまり、買ってみたコーヒーがおいしくて、結果的にそれがたまたまフェアトレードだったという流れにもっていく。



そこで“フェアトレード”に代わるキャッチコピーをつくり、団体の活動理念を訴えていく。

<コピーの案>

- ① 「1 break for smile」 “1杯のコーヒー休憩(1回の徹夜)がラオスへ綺麗な水を”
- ② 「coffee break through」 “コーヒーブレイクする?!”
break through - 突破、打破する、大発見、大躍進
→コーヒーブレイクして、大躍進していくというスローガン
- ③ 「ラオスマイル～」

3. 広報内容

① 渉外用資料、商品カタログ

【概要】団体の活動内容と商品を掲載した商品カタログ。新規取扱店舗獲得のための渉外活動で店舗に渡す資料。

【製作方法】広報班内で素案をいくつか出し、イラストレータで作成し、Smile F Laosメンバーみんなで投票。その後、プリントパックを利用し印刷する。

② 告知イベント用フライヤー

【概要】活動内容とイベントの告知を掲載したフライヤー。

【製作方法】広報班内で素案をいくつか出し、体験演習メンバーみんなで投票。
プリントパックで作成予定。

③ リーフレット

【概要】「フェアトレード」「ラオスの教育・衛生問題」「当団体の目標、活動」「商品情報」を掲載したリーフレット。フライヤーはイベント前の告知に使用し、リーフレットはイベントに来てくれた人に配布することで、活動内容を中心に紹介する紙媒体に使用する。

【製作方法】広報班内で素案をいくつか出し、項目ごとに分担し、作成後は演習メンバーみんなで投票。プリントパックで作成予定。

④ 商品 POP

【概要】価格、商品情報が載った小さな POP。生協など商品を置いてもらえるところで、商品と一緒にお願いしてもらう。

【製作方法】イラストレータで作成し、広報班みんなでデザインを決める。

⑤ ポスター（保留）

【概要】イベントの告知用。大学内に貼ってもらう。

【製作方法】イラストレータで作成。主に秋元真理担当。

⑥ 校内放送（保留）

【概要】イベントの告知。おひろめパーティー当日の休み時間に校内放送を流すことで、東洋大生にイベントや学際出店、商品がどこで売っているのか知ってもらう。校内放送は教務課に申請が必要。

【製作方法】主に中島なつき担当。

⑦ 来年度履修者募集用フライヤー

【概要】来年度の授業履修者を募集するためのフライヤー。活動内容を報告する。先生に授業内で配ってもらう。

【製作方法】広報班みんなで MS ワードを使って作成。

⑧ ホームページ

【概要】団体の活動内容、イベント告知など、この団体のすべてを紹介し、書いていく。また、教育班で調べて分かったことを随時ここで掲載する。

HP 上のブログでは、コラムのコーナーを作り、英文の記事を引用し、英文を和訳して紹介する。ここで紹介する内容は、プラスになる明るい内容で、綺麗な写真があるものを Google ニュース、Yahoo ニュースのようなインターネットで見ることが出来る英語版ニュースか

ら検索する。その際、キーワードを「ラオス」「フェアトレード」「コーヒー」に絞る。

【更新頻度】新しいことが決まり次第、随時更新。 ブログ内の記事引用コラムは、月 1 回の更新を目標にする。

【製作方法】今年、すぐに基礎のページを作りたいのでコードが書けなくてもホームページが出来る jimdo を使う。来年度や余裕が出来たなら html を使ってコードで作成。

担当：デザインは、広報班内みんなで相談して作成し、ページの基礎を作る。

⑨ Twitter

【概要】コーヒー豆をモチーフにした「マメちゃん」というキャラを作成し、このキャラが発言する。発言内容は、マメちゃん的生活や、ラオスやコーヒーについての豆知識、イベント告知などを簡単にラフな感じで紹介する。

また、HP や Facebook の更新ごとにお知らせする。

【更新頻度】毎日。1日 2~3 回程度 Bot のような形式にする予定。

担当：広報班みんなで曜日ごとに担当を変えて回していく。

⑩ Facebook

【概要】イベント告知・情報共有などをしっかりと書く。写真の実質的な共用の保管場所にする。

【更新頻度】不定期にイベント前の告知、商品の紹介をその都度宣伝し、イベント後は写真をのせて報告する。

【担当】イベントの告知は毎回メンバーで更新を回していく。

⑪ Youtube

【概要】Youtube チャンネルを作り、商品を使った CM や、活動内容を知ってもらう動画配信をする。

【更新頻度】不定期にイベントの告知、商品の紹介をその都度宣伝する。

担当：何を宣伝したいかみんなで話し合い、動画の企画案を出す。スタディーツアーでの内容や、文字だけでは伝わらないことは動画を通して伝える。

おひろめパーティーまでには厳しいが、もしイベントでスクリーンが使える環境の場所であれば、OP ムービーや ED ムービー、30 秒 CM、ラオススタディーツアーでの写真をスライドショーにした動画を作成する。詳細は未定であるが、HP が出来て余裕が出来次第この作業に入る。

5. スケジュール

5月	ツイッター、Facebook 完成、団体内でフェアトレードに代わる新しいコピーを考える
6月	ホームページ基礎、Youtube チャンネルの作成
7月	おひろめパーティー告知フライヤー作成、イベント告知 Facebook、Youtube 更新
8月	渉外用資料、商品カタログ作成、商品 POP 作成、イベント告知フライヤー
9月	Youtube チャンネルで流す動画の撮影、更新
10月	学祭出店告知フライヤー作成、ポスター作成(保留)、校内放送の実施(保留)、Facebook、Youtube 更新
11月	活動内容、商品の情報を記載したパンフレット、 Broschura 作成
12月	スタディーツアーに向けてホームページリニューアル更新
1月	スタディーツアーの内容を伝える Youtube チャンネルの更新、来年度履修者募集フライヤー 作成

ラオス班 企画書

1. 目的

コーヒー販売の収益の一部を使用して、簡易浄水器を購入し、ラオスの小中学校に設置をすることによって、子どもたちの衛生環境を向上させること。

2. 目標

- ・ラオスを支援していく上で必要な情報を収集し、発信する。
※前期の授業では教育、後期は衛生環境についての情報を収集する。
- ・ラオスタディーツアーの計画をし、現地で子どもに直接関わって支援をする。

3. 実施計画

〈前期〉

6月上旬 東洋大学社会文化システム学科 1年生を対象に、フェアトレードやラオスの認知度やイメージを調べるためにアンケートを実施する。

教育

6月下旬 ①社会企業家タイソン氏のプロジェクトの内容に関する調査、
浄水器の有効性、入手方法、設置方法などに関する調査

②ラオスの学校施設に関する調査

7月上旬 ③ラオスの就学率と就学できない原因に関する調査

④ラオスと日本の教育制度の違いに関する調査

7月14日 製品お披露目パーティーの発表用資料を作成完了させる。

7月下旬 製品お披露目パーティー

→教室等で実施し、発表の時間がとれる場合はプレゼンをする。

→ステラを貸切るなど、参加者が出入り自由のかたちで実施する場合は
展示物で発表する。

〈後期〉

衛生環境

10月上旬 ⑤ラオスの子どもに対する他の支援団体の活動に関する調査

⑥ラオスの子どもの健康を阻害する病気に関する調査

雨期・乾期の子どもの健康への影響に関する調査

10月下旬 ⑦ラオスの生活用水の水質や衛生面に関する調査

⑧ラオスにおけるごみ処理の意識や制度に関する調査

10月末まで 東洋大学で開催される学園祭(白山祭)の展示資料を完成させる。

11月1日、2日 白山祭に上記により調べた結果を展示し、認知度を高める。

4. 調べる理由

① 社会企業家タイソン氏のプロジェクトの内容に関する調査、浄水器の有効性、入手方法、設置方法などに関する調査の場合

2013年スタディーツアーでラオスに行き、Jhai Coffee Houseのタイソンのプロジェクトの存在を知った。その中で、カフェで得た利益をラオスの教育に還元することで、一度きりではなく持続可能な支援をしているプロジェクトに興味をもったので、タイソンのプロジェクトと、そのプロジェクトで使用する浄水器について調べる。

② ラオスの学校施設に関する調査の場合

ラオスの学校施設に足りないものは何かを調べることで、自分たちに何ができるのか、逆にやる必要のないことは何かを知るために調べる。

③ ラオスの就学率と就学できない原因に関する調査の場合

2013年のラオススタディーツアーで実施した家計調査をした際、最終学歴が小学校、中学校の人、大学まで進学している人などさまざまな学歴の人がいることがわかり、ラオスの子どもたちの就学率が気になった。学校施設の改善も必要だが、そもそも子どもたちはきちんと学校に通えているのか、通えない場合の理由は何かを知るために調べる。

④ ラオスと日本の教育制度の違いに関する調査の場合

ラオスの教育制度がどのようなものかをよりわかりやすく知るために、日本の教育制度も調べ、比べてみる。

⑤ ラオスの子どもに対する他の支援団体の活動に関する調査の場合

他の支援団体の活動を知り、自分たちの活動の参考にするために調べる。

⑥ ラオスの子どもの健康を阻害する病気に関する調査、雨期・乾期の子どもの健康への影響に関する調査の場合

健康でなければ教育は受けられないので、健康は重要である。そのため、ラオスではどのような病気が問題となっているのかを知る。また、ラオスには雨期・乾期があるので、それぞれの時期特有の人々への影響について調べる。

⑦ ラオスの生活用水の水質や衛生面に関する調査の場合

2014年スタディーツアーでラオスの学校に行き、子どもたちに環境や水についての

指導をするために調べる。

⑧ ラオスにおけるごみ処理の意識や制度に関する調査の場合

2013年ラオスタディーツアーで実際にラオスに行き、人々がごみをポイ捨てしている現状を目の当たりにしたため、ごみの問題について調べ、2014年スタディーツアーでラオスの学校に行き、環境やごみについて指導するために調べる。

5. 広報手段

～授業内～

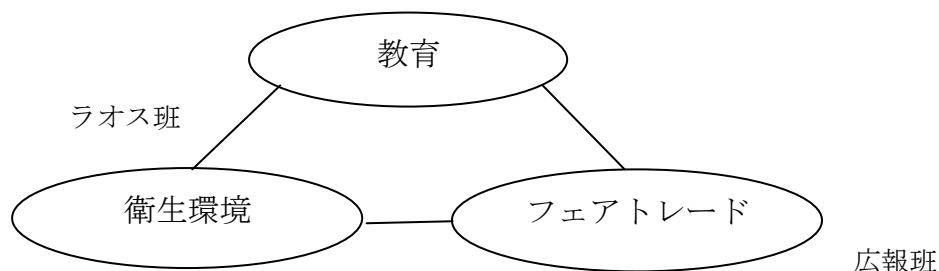
- ・資料を配り、授業の最初の5分間で学生に読んでもらい、質問や意見をもらう。

～ブログ～

- ・調べたことを半月に1回、2記事ずつブログに投稿する。
- ・ラオス班は教育と衛生環境についての記事を担当し、広報班はフェアトレードについての記事を担当する。

～フライヤー～

- ・商品を購入した客には、商品と共にフライヤーを配り、情報を提供する。



6. ラオスタディーツアーでやりたいこと

～学校を訪問してやりたいこと～

- ・浄水器や水について説明する。
- ・環境、ゴミのポイ捨てについて指導をする。
- ・子どもたちと一緒にダンスやスポーツをして、交流を深め、体を動かす楽しさを教える。
- ・手づくりの浄水器の作り方を教える。
(ペットボトルなどを使い、現地にある材料で作れるか事前に調べる。)
- ・たくさんの子どもが本を読めるように、絵本をラオスの学校内の共有できるスペースに置く。